

普及活動情勢報告（令和4年4月分）

高吾農業改良普及所

トンネルオクラの栽培が始まりました！



3月中旬から日高村、佐川町においてトンネルオクラのは種が始まりました。

3月末から4月にかけて平年より気温が高い日が多く変動も大きかったため、生産者からは換気のタイミングが分かりにくく、「いつ換気をしたらよいか」といった声がありました。そのため、普及所では換気をする際の本葉の枚数を目安にすることや穴を空ける手順について指導を行っています。

普及所は、今後もトンネルオクラの安定生産に向けて栽培管理や病害虫防除の指導をしていきます。

高糖度トマト、第1花房の開花始まる



仁淀川町では、夏秋高糖度トマト（4戸）の定植が3月4日から始まり、個別巡回を通じて定植後の生育状況を確認しながら、かん水管理指導を行っています。

生産者からは「かん水量は十分か」、「花が咲き始めたが、追肥を始めた方がよいか」といった声が聞かれ、施肥の開始時期についても生産者とともに確認し、対応をしています。

普及所では、引き続き個別巡回によって高糖度トマトの安定生産を支援していきます。

高吾地域でのサンショウの施肥改善の取り組み



越知町では薬用・食用合わせて51haのサンショウが作付けられ、全国でも有数の産地となっています。しかし、サンショウの栽培では収穫後の礼肥施用が隔年結果を軽減させるうえで重要ですが、約3割のは場で行えていません。そこで昨年度より省力かつ効率的な緩効性肥料による礼肥施用の実証試験を行っています。

4月になり新芽を調べてみると、休眠する芽が3～5%減少していることが確認できました。この結果は4月16日に行われた越知町山椒組合の総会で資料提供により周知を図りました。

普及所では、今後もサンショウの施肥改善に向けた取り組みを行っています。